

令和7年3月宇土市議会定例会 質疑

【日程】

令和7年3月4日（火）今中議員〔質疑〕、宇土市政研「志」西田議員、中口議員
 檜崎議員、宮原議員

3月5日（水）今中議員、浦本議員、中野議員

3月6日（木）土黒議員、福田議員、藤井議員

発言順	質 問 事 項	答 弁 者	質 問 者
1	(1) 議案第36号 令和7年度宇土市一般会計予算について 要旨 地方バス路線維持費補助金 4,169万7千円 ① 今年度と比較して来年度はどう変わるのか。 ② 決算審査等々において再三指摘があっていると思うが、 決算審査以降どのような協議を行ったのか。	企画財政部長	今中真之助議員

令和7年3月宇土市議会定例会 代表質問

発言順	質 問 事 項	答 弁 者	質 問 者
1	(1) 震災復興分野の「“輝く” 未来～震災からの復興～」について 要旨 ① 各地区が主体となって実施する防災活動に対して支援を行うとあるが、どのような活動をイメージし具体的にどのような支援を行うのか。	市長	宇土市政研「志」 西田和徳議員
	(2) 教育・文化分野の「“輝く” 人～学びのふるさとづくり～」について 要旨 ① 学校教育について市内全小中学校のタブレット端末を更新し、ICT教育を推進するとあるが、前回整備したタブレット端末の検証はどのようなものであったか。またどのような内容のものを導入し、子どもへの効果はどのようなものをイメージしているのか。	市長	
	(3) 保健・福祉・医療分野の「“輝く” 絆～安心のふるさとづくり～」について 要旨 ① 保育所を取り巻く環境整備について言及されているが、近年年度途中に多く発生する待機児童が課題である。施政方針後半でも言及されている子育て世代の転入促進を図るにはこの問題を解決しなければならない。これまでの取組の延長でそれは解決できるのか、また待機児童解消について目標があれば尋ねたい。	市長	
	(4) 産業・経済分野の「“輝く” 産業～活力のふるさとづくり～」について 要旨 ① 農林業の振興について「6次産業化等支援事業補助金」を創設し、意欲ある生産者の加工品開発や販路開拓の支援や、観光農園の増加に向けた取組を行ってまいるとあるが具体的内容を尋ねたい。 ② 商工業の振興について、創業・開業支援補助金の支援を言及されているが、令和6年度は西部地区での創業について拡充されたが、その検証と来年度に対する想いを伺う。	市長	
	(5) 生活環境・都市基盤分野の「“輝く” まち～安全のふるさとづくり～」について 要旨 ① 新たに「特定公共賃貸住宅子育て世帯移住促進助成金」を創設し、子育て世代の転入促進を図ってまいるとあるが具体的内容を尋ねたい。	市長	

令和 7 年 3 月宇土市議会定例会 一般質問

発言順	質 問 事 項	答 弁 者	質 問 者
2	(1) 宇土市主導による土地開発について 要旨 ① 土地開発候補地の現状及び今後の取組について ② 本市へのスポーツ施設（野球場等）の誘致対策について	総務部長 市長	中口俊宏議員
	(2) 教育行政の取組について 要旨 ① 宇土市入学準備祝金給付事業について ・目的及び過去 3 年間の寄付金額及び給付状況について ・今後の取組について ② 船場川調整池周回コースの整備について ・現状について ・今後の取組について	教育部長 教育長 教育部長 教育長	
3	(1) 相続登記の義務化について 要旨 ① 内容と周知について	市民環境部長	檜崎政治議員
	(2) 環境対策について 要旨 ① 環境汚染などが問題視されている有機フッ素化合物（PFAS）について人の健康への影響は。 ② 宇土市松山町にある宇城広域連合の施設（松山最終処分場）の監視井戸から有機フッ素化合物の「PFOS」及び「PFOA」が国の定める指針値 50ng/l を超えて検出されているその概要と経過は。また、地下水調査の流れを尋ねる。 ③ 追加調査結果について。超過が見つかった関係地域の今後の対応（上水道の設置等）は。 ④ 監視井戸から半径 500m を超える箇所の本市独自の調査結果について ⑤ 指針値超過の原因は。また、最終処分場との関連性、周辺事業所の関連性は。 ⑥ 近隣の農業用ため池等の調査について ⑦ 浄水器に利用するフィルター活性炭処理について ⑧ 地元説明会及び検査費用の助成について ⑨ 今後の対応	市民環境部長 市民環境部長 建設部長 市民環境部長 市民環境部長 経済部長 市民環境部長 市民環境部長 市長	

4	(1) 本市の排水機場について 要旨 ① 本市の排水機場の設置状況について ・各地区排水機場の担う主な地域と主な河川について ・各地区排水機場の排水能力について ② 令和6年3月24日豪雨災害時の各排水機場の稼働状況について ・農産物被害が大きかった地域内の排水機場稼働状況の課題について ・今後の対策について ③ 今後の排水機場の維持管理について ・農家の維持管理費負担金の差について ・土地改良組合の合併について	経済部長 経済部長 経済部長 経済部長 経済部長 市長	宮原雄一議員
5	(1) 学校図書について 要旨 ① 本市小・中学校の学級数から見て現時点で各学校は図書標準の蔵書冊数を満たしているのかどうかについてお示しいただきたい。 ② 蔵書の中には古くなった本も多数含まれている実態がある。それも蔵書数に含まれているのか。本市の状況はどうか。本来であれば古い本は処分し、新しくすべきではないか。 ③ 蔵書の配分比率の状況はいかがか。 ④ 学校図書館には国語の教科書に掲載されている本の拡充が求められていると思うが現状はどうか。 ⑤ 学校規模や予算配分により、新しい情報での学習資料と向き合える機会が児童、生徒1人に対し小規模学校ほど少なくなる実態は改善すべきだと思う。さらに教科書が変わるたびにとはなるだろうが、国語の教科書に掲載されている本の拡充は別予算で補完すべきではなかろうか。市長の見解を尋ねる。	教育長 教育長 教育長 教育長 市長	今中真之助議員

	(2) 消防団の体制強化について 要旨 ① 本市に住まう外国人住民の状況は。 ② 消防団員は非常勤の公務員であり公権力の行使が認められているが、公権力の行使は日本国籍を有する者でなければならないと規定されているため、外国人消防団員は公権力の行使に該当しない活動のみ従事することができるとされている。定員など条件を科し外国人団員を積極的に認めても良いのではないかと考えるが見解は。 ③ 男女参画や多様性への取組などでジェンダーについて近年、社会は大きく変貌してきたように思える。女性は現在本部所属の女性消防隊として活動することになるが、分団の班所属にできない理由は何か。また本市の多くの詰所がトイレの環境が未整備であると思うが、今後の社会においてこのままで良いのか。 ④ 本市の消防団における団員確保は東西によって理由が異なり、東部は対象者がいるものの成り手不足、西部、特に若年層の男子が少ない網田地区はそもそも対象者がいない状況である。今後消防団活動を維持していくためには抜本的な見直しが必要だと捉えているが見解は。	市民環境部長 総務部長 総務部長 総務部長	
	(3) 地上デジタル放送電波受信障害地域について 要旨 ① 地上デジタル放送の電波が受信しづらい地域では共聴組合を設立し総務省やNHKからの支援を通じて受信障害対策共同受信施設（共聴施設）を設置してテレビを視聴しているが、本市の受信障害地域の現状は。 ② 不具合が出たり経年劣化を対応する場合は総務省やNHKの支援対応外となり、その場合に備え、ほとんどの地域で会費を集めておられるが、ほとんどの地域が限界集落であり組合維持は厳しい状況である。2010年頃に設置した共聴施設は概ね15年が耐用年数と伺っている。落雷など災害の場合は加入する保険などで対応すべきだと考えるが、保険は経年劣化や災害によらない不具合は対象外のため組合費で補う必要がある。防災や減災の観点からも極力組合の負担軽減のために市が支援すべきだと考えるが見解は。	総務部長	

	(4) 新型コロナワクチンについて 要旨 ① 1月31日で定期接種が終わったと思うが接種率の状況は。またインフルエンザのワクチン接種も併せて尋ねる。 ② 世間ではインフルエンザと新型コロナウイルスの感染者が多くなったと騒いでいたが本市ではどうか。また接種者、未接種者で罹患率は異なるか。 ③ 以前から何度も指摘しているが我が国の超過死亡が近年やはり多い。本市の死亡された方のコロナワクチン接種との相関関係（最終接種日から死亡日までの日数）を出せないか。またコロナワクチン1回目接種以降、本市死亡者の死因のデータは出せないか。 ④ どうしてもこれまでに遡ってデータが出せないとした場合、今後の分のデータは取れないか。今後のために必要ではないか。	健康福祉部長 健康福祉部長 健康福祉部長 市長	
	(5) 本市の公園について 要旨 ① 本市が公園として位置付けている公園はどれくらいあるか。また、それぞれ利用者はどれくらいいるか。 ② 子育て層が子どもを連れて遊ぶ公園として遊具の充実化を求む声が多い。本市で1番の公園といえばつつじヶ丘農村公園だと思うが、はっきり言って子育て層から選ばれている公園とは言いづらい。子育て層の多くは他市町村の公園を選んでいるのが現状である。もっと遊具など拡充できないか。 ③ 子育て層の意見として中心市街地に公園を整備してほしいという声もある。「こどもどまんなか」が絵に描いた餅とならないよう、子どもとその親の意見を取り入れて選ばれる公園を作ってはどうかと思うが見解を伺う。	建設部長 建設部長 市長	

6	(1) こどもまんなか社会の実現に向けて 要旨 ① 本市のこどもまんなか社会の枠組みは、何歳までを対象としているのか。また、こどもまんなか応援サポーター宣言後にはどのような取組が行われているのか、今後の展望を伺いたい。 ② 仕事を持つ親のサポートとして、病気の子どもを預けられる施設「病児・病後児保育施設パンダ」の年間利用者及び周知方法について伺いたい。 ③ 青少年の健全育成の場として、新たに建設が始まる子どもサードプレイスの対象年齢、活動内容、場を作るスタッフ、環境づくりをどう行うか伺いたい。 ④ ユース世代と言われる高校生の不登校や引きこもりの本市の状況、相談件数はどのくらいか。その受け皿をどのように考えているか伺いたい。	健康福祉部長 健康福祉部長 教育長 教育部長 健康福祉部長	浦本晴美議員
	(2) 地域コミュニティの中心である婦人会・老人クラブについて 要旨 ① 婦人会や老人クラブ、歴史ある団体の実情、存続についてどのように考えるか。また今後、地域コミュニティの理想的な形はどのようなものと考えているか伺いたい。	市長	
7	(1) 避難所となる学校施設の防災機能強化の推進について 要旨 ① 国の2024年度補正予算で学校体育館の空調（エアコン）整備に779億円が計上され、空調を整備する自治体への臨時特例交付金の新設され、関連工事費用を含めて2分の1の補助などが確定した。避難所の環境整備のみならず、学校体育館は安心・安全な教育環境整備も関係してくるため、大幅な加速的整備が求められていると考える。今のタイミングで、本市の小中学校すべての体育館に空調設備を設置することと共に国の内閣府防災や文部科学省の担当部署と連携して、体育館の空調施設の最新技術や事例を参考にすべきと考えるが、市長の見解は。	市長	中野洋一議員

	(2) 取組指針改定後の本市における大規模災害時の避難所環境の改善について 要旨 ① 昨年１２月に改訂された自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインに明記された「スフィア基準」。現在の本市の避難所におけるトイレの基準はいくつになっているのか伺う。併せてスフィア基準に基づく「トイレを２０人に１基」とする取組についての見解は。 ② スフィア基準に基づく入浴施設の基準の取組についての見解は。 ③ 改訂された取組指針では、避難所内の一人当たりのスペースを「最低３．５㎡（畳２畳分）」とし、段ボールベッドなどが置ける広さの確保を目指すとしているが、その取組についての見解は。 ④ 政府では、被災地のニーズに応じてキッチンカーやトイレトレーラー、ランドリーカーなどを迅速に提供するための事前登録制度を検討している。本市でも積極的に取り組むべきと考えるが、見解は。	総務部長	
	(3) 災害発生時における避難所等の通信環境について 要旨 ① 大規模災害発生時における避難所等の通信確保のため、指定避難所等への衛星インターネット機器等の新技術の導入が望まれるが、技術の進展に応じた新しい通信サービス・機器について、迅速な立ち上げと継続的な運営を自ら円滑に行えるよう新しい通信技術に関する訓練を終了した者や無線従事者免許取得者など地域ごとに無線技術に知見のある者を中心とする体制整備を行い、発災後に通信設備の被災状況把握や通信環境確保等を迅速かつ継続的に行う取組を検討すべきであると考えているが、見解は。 ② 外国人旅行者が増えており、外国人にとってインターネットによる情報収集がメインであると思う。そのため通信確保の優先度を上げた対応が必要と思うが、取組はあるか。	総務部長	
	(4) 小中学校での情報リテラシー教育について 要旨 ① 闇バイトの危険性や情報リテラシーの大切さを身近に感じてもらうために「レイの失踪」、「レイのブログ」などを授業に取り入れてはどうか。	教育部長	

	(5) 本市の歴史的魅力や特色ある有形・無形の文化財群を整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることについて 要旨 ① 本市の有形無形の文化財や歴史的に魅力のある伝統行事などを活用し、大きなストーリーとしてまとめることにより、日本遺産への認定を目指してはいかがか。見解を。	教育部長	
	(6) 「九州のどまんなか宇土市」だからこそヘリコプターを活用したハブ機能について 要旨 ① 現在、本市には「公共用ヘリポート」「非公共用ヘリポート」「飛行場外離着陸場」などのヘリポートはいくつあるか。 ② ヘリポートを誘致して、インバウンド客などの誘客を図ってはどうか。	経済部長 市長	
8	(1) 「宇土市通学路安全プログラム」について 要旨 ① 過去3年間における、小学校・中学校ごとに提出された通学路安全に関する要望の件数とその具体的な内容（例：白線整備、カーブミラー・防護柵の増設、通学路の拡幅、カラー舗装）は。 ② これらの要望をどのように採択・実施しているのか、予算確保の計画や優先順位の決定プロセスについて。また、現在把握している要望に対する対応状況や、年度ごとの対応計画、予算の具体的な配分は。	教育部長	土黒功司議員
	(2) 「こどもどまんなか」政策の具体的な展開について 要旨 ① R7年度事業において、「こどもどまんなか」政策の具体的な施策内容、子育て支援・教育環境の充実に向けた新たな取組、そして市民が実感できるサービス提供の計画は。 ② 国が推進する「こども・子育て政策に係る地方単独事業（ソフト）」に関する財源の活用について、宇土市としての検討状況は。また、以前の議会で前向きな答弁をいただいた「公園整備事業」等の子育て環境整備は、R7年度にどのように進められるのか。	答弁なし 市長	

	(3) 「GIGAスクール構想」の取組について 要旨 ① 現在の購入端末の検討状況、及びWindows端末からChromebook端末への環境移行に対して、学校現場での混乱を最小限に抑えるための今後の移行体制、研修計画、移行スケジュールについて	教育長	
	(4) 宇土市の持続可能な行政運営に向けて 要旨 ① 熊本地震による実質の歳出額や市債への影響（地方債返済計画）、また昨今の人件費高騰・物価高騰による財政硬直化の影響、さらには上下水道老朽化などのインフラ整備にかかる追加費用のリスクを踏まえ、今後の財政状況の見通しについて。 ② 財源確保や地域経済の活性化に向けた施策について、R7年度の目的別歳出における商工費等の予算配分は十分なものとなっているのか。また、「九州のどまんなか宇土市」シティプロモーション事業、西部地区への補助金事業、移住・定住促進、商業・観光業の推進施策が、実際に税收増加につながっているのか。これまでの成果や今後の見通しや戦略は。 ③ 新設予定のDX推進部署について、具体的な役割や実行計画、R7年度における具体的な成果目標（行政内部の業務効率化、市民向けサービスの向上）は。 ④ 目的別歳出における教育費の予算配分について、宇土市の人口一人当たりの教育費が他市に比べて低い現状を踏まえ、市が目指す子育て、教育事業に対して十分な予算が確保されているのか。また、教育環境の充実を図るため、今後の財政計画において教育予算の拡充の可能性はあるのか。 ⑤ 市債残高の高止まり、子育て・教育予算の配分、インフラ維持計画、DX推進など、宇土市が直面する課題を踏まえ、R7年度の目的別歳出の予算配分はどのような優先順位と戦略のもとに決定されたのか。また、将来的な市の発展を見据え、どの分野に重点的な投資を行うべきと考えているのか、財政の持続可能性を踏まえた市長の見解は。	企画財政部長 企画財政部長 企画財政部長 企画財政部長 市長	
9	(1) 訪問介護事業所への支援について 要旨 ① 介護保険特別会計の経営状況について ② 訪問介護事業所への報酬切下げの影響と財政支援について	健康福祉部長	福田慧一議員

	(2) 物価高騰対策について 要旨 ① 介護施設、保育所、学校、中小事業所、農漁業などへの電気、ガス、食材費、資材等に対する支援について	企画財政部長	
	(3) 小中学校で働く教員の勤務状況について 要旨 ① 小中学校教員の勤務実態はどうなっているか。 ② 長時間労働の主な原因は何か。 ③ 長時間労働の改善について教育委員会の取組は。 ④ 教員不足の対策と長時間労働の解消について	教育部長 教育部長 教育部長 教育長	
	(4) 飲用井戸からのP F A S検出に対する対策について 要旨 ① 飲用井戸の検査結果と対策について ② 暫定目標値の見直しと、県の検査で検出された以外の井戸については、全て暫定目標値を超過しない見込みとなっているが内容はどうか。暫定目標値以下でも検出されていれば対策が必要ではないか。	市民環境部長	
	(5) 国民健康保険について 要旨 ① 保険料水準統一によって保険税の負担はどうか。 ② 国保税の値上げではなく、法定外繰入れを行い、負担軽減を図るべきではないか。 ③ 改正マイナンバー法による保険税滞納者に対する対応は。	市民環境部長 市長 市民環境部長	
	10 (1) 本市の生活困窮世帯の状況について 要旨 ① 過去5年間の生活保護申請の状況と支給決定の状況は。 ② 支援が必要な家庭、人に援助は届いているか。	健康福祉部長	藤井慶峰議員
	(2) 本市のヤングケアラー家庭・人の実態について 要旨 ① ヤングケアラー家庭を把握しているか。 ② 支援策は。	健康福祉部長	

※質問内容・答弁者は変更になる場合があります。